

* 園長のひとりごと

沖縄以上に暑い夏を経験したのも記憶の彼方、あっという間に秋も過ぎ去り、すみれさんがお泊り会で登った旭岳にも10月9日に初冠雪とのニュースが届きました。昨年よりはちょっと早めの初冠雪でしたが、雪虫もすごい勢いで飛び始めたと思ったら20日には平地でも初雪を見ることになりました。

すみれ組の幼年消防隊の活動では、10月23日に秋の火災予防週間に合わせ、制服姿で近隣スーパー2店舗前にて防火チラシ配布をさせて頂きました。肌寒い日ではありましたが、来店されたお客様に「火事に気を付けて下さい！」と元気にチラシを手渡すことが出来ました。

園内では、11月15日の発表会に向け子どもたちの歌声や楽器の音、楽しそうに踊る姿が見られるようになってきました。

発表会は、昨年同様2部制にて行います。観覧場所につきましてもステージ側に上演するクラスの観覧者がお座りいただけるように配置したいと思いますが、昨年の発表会アンケートでは何点かの改善要望を頂いておりましたので、同日配布致します「発表会のお願い」をよくお読み頂きたいと思います。

たくさんの方にご覧いただけよう、公共施設をお借りしての発表会実施ですが、楽しい行事とするためにもご覧いただく皆様の譲り合いや、他の方への思いやりの気持ちと共にご観覧いただきますようお願い申し上げます。

昨年から今年にかけて、猛暑と同様コメ不足と値上りの話題で持切りでした。今年の新米も店頭に並び始め、昨年よりは作付面積も増えたことから、少しは安くなるかと思いきや、今のところ変わらぬ高値が示されているようです。

私は米の専門家ではありませんが、日本は根本的に食糧政策を誤っているような気がします。食糧特に主食を生産される農家には国民が必要とする量を作つてもらう必要があります、その価格は農家の生計が維持される程度のものである必要があります。また消費者から見た主食は、比較的安定的に安価で販売される必要があります。国は国内での見込消費量に合わせた需給調整（生産調整）が必要となる訳ですが、豊作貧乏という言葉が有るように獲れ過ぎると農家の手取りが減り、逆に生産量が減ると消費者が高い米を買う事になり、いずれの場合もそのギャップを埋めるために国の予算が使われる事になります。このプレを解消する為には、米の生産コストを下げて競争力のある米を生産拡大し、国内消費に加え輸出量の拡大を図る。これしか道は無いのではないかと思います。今後家計や園の給食にも影響が出てくると思いますが、何としても食糧自給率の向上に向けた大きな転換点として欲しいものだと思います。

すみれ組さんを除き、来年度も継続される方・新規に入園申し込みをされる方への用紙配布が11月4日より始まります。提出期限は現時点では例年通りとしか伝えられておりませんが、期限に間に合うようご提出頂くことに成りますので、書類の準備等宜しくお願い致します。

又、令和8年度から幼稚園のように就労要件が不要となる1号利用への変更を希望される方には、個別にご相談に応じさせて頂きたいと思いますので、お早めにお声かけ頂きますようお願い申し上げます。

